

楽しさ倍増

ハンディ持ってハイキング

とりあえず最小限の設備で開局したい、そんなときにしばしば選ばれるのがハンディ・トランシーバー、略してハンディです。

また、ハンディは最も手軽なアマチュア無線として、ハムならばたれでも必ずとっていいほど楽しんでいるものです。

*

ハンディはV/UHFで運用しますから、電波は見通し距離しか届きません。しかも出力は大きくても5Wくらいまでですから、ハンディ同士で交信できる距離はせいぜい1kmくらいが限度です。携帯電話とは違いますから、ハンディに過大な期待は禁物です。

でも、催し物の会場の中とか、仲間を誘ってのウォーキングや隊列を組んでのハイキングといったときには、複数の人がハンディを持っていると楽しさを倍増させてくれるでしょう。

*

誰か、ハムと煙は高いところに登りたがる、とうまいことを言いました。

ハンディが威力を発揮するのは、高いところに上がったときです。ビルの屋上に上がっただけでも、交信可能な



Keyword



アンテナ

ハンディ・トランシーバー，V/UHF，QSO，ワッチ，ア

グループでハイキングなどの時，連絡用にハンディ・トランシーバーを使えば，より楽しい



距離は数 km から十数 km に伸びます．近所にポートタワーのようなものがあつたら，ためにハンディを持って上がり，ワッチしてみてください．驚くほど多くの局が聞こえてくるでしょう．聞こえてくれば，QSO も可能です．

そして，高いところに上がる最たるものが，山登りです．山登りでは，ひょっとしてアマチュア無線が命を救ってくれることもあります，下界を眺めながらのQSO はまた格別です．度々山に登っている人は，ハンディをリュックに入れたままで運用できるように工夫したり，電波がより遠くに飛ぶように携帯用のアンテナを別に用意したりして，楽しみを深めています．

＊

とりあえずハンディだけで開局した人がやがて突き当たる壁が，電波が遠くまで飛んでくれないという悩みです．そんなときには，少なくとも屋根の上に顔を出す外部アンテナを用意して，ハンディにつないでみましょう．これで，今までに比べて遠くまで電波を飛ばすことができます．ただし，ハンディは落ちていてQSO をするには操作性が悪いのが難点ですが，これは仕方の無いことです．

